NPT加盟核兵器国の弾頭数

2007年7月現在

弾頭の分類			米	口	英	仏	中	合計
作戦配備	戦略核	ＩＣＢＭ／ＩＲＢＭ	1,050	1,843	0	0	79	2,972
		ＳＬＢＭ	2,016	624	160	288	12	3,100
		爆撃機搭載核兵器	1,955	872	0	50	40	2,917
		戦略核予備	215	—	40	—	70	325
		小計	5,236	3,339	200	338	200	9,314
	非戦略核	ＡＢＭ／ＳＡＭ	0	700	0	0	0	700
		空軍航空機用	400	975	0	0	0	1,375
		海軍用	100	655	0	10	0	765
		小計	500	2,330	0	10	0	2,840
	合計		5,736	5,670	200	350	200	12,154
迅速対応戦力及び不活性貯蔵			4,226	9,330	—	—	—	13,556
総計			9,962	15,000	200	350	200	25,710

※丸めのため合計に不一致がある。

図説：世界の非核兵器地帯

軍事力によらない

いまこそ「東北ア

2006年9月8日、中央アジア5か国が、「中央アジア非核兵器地帯」
器地帯の地位を獲得しているモンゴルとあわせ、北半球に「非核の
非核兵器地帯においては、核兵器の開発、製造、取得や配備のみ
は、軍事力に依存しない「非核の傘」によって、私たちの平和と安全を
器地帯を生み出す努力が続けられている。北朝鮮の核実験という事

中央アジア非核兵器地帯条約（セミパラチンスク条約）

●締結署名　2006年9月8日
●発効　5か国（カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン）による批准から30日目に発効。

●地帯の範囲
上記5か国の領土、全ての水域（港湾、湖、河川）、及びこれらの上空。

●核保有国の対応
核兵器国に署名開放される議定書は、「核兵器あるいは他の核爆発装置の使用もしくは使用の威嚇を行わないこと」、「条約及び議定書締約国によるいかなる違反行為行為にも寄与しないこと」を定めている。

モンゴル非核兵器地帯地位

●1998年12月4日　国連総会決議で一国の非核兵器地帯の地位を認知
●2000年2月3日　国内法制定
●現在、非核兵器地帯の地位に基づく二国間、または多国間協定を模索中

アフリカ非核兵器地帯条約（ペリンダバ条約）

●締結署名　1996年4月11日
●発効　28カ国（当時のアフリカ統一機構（OAU※）の過半数）が批准をすませたときに発効。

●地帯の範囲
アフリカ大陸、OAU※のメンバーである島しょ国、およびOAU※の決議によってアフリカの一部とみなされた島々、の領土および領海。（地図は、付属書 I に基づいて作成した。小島は示されていない。）
【注】インド洋にあるチャゴス諸島に関しては、領有権問題があり、付属書にただし書きが加えられている。この中に米軍基地の島ディエゴ・ガルシアが含まれている。

●地帯内に位置する国・地域
アガレガ諸島、アルジェリア、バサス・ダ・インディア、アンゴラ、ベナン、ボツワナ、ブルキナ・ファソ、ブルンジ、カメルーン、カナリア諸島、カーボ・ベルデ、中央アフリカ、チャード、チャゴス諸島、コモロ、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国（ザイール）、コートジボアール、ジブチ、エジプト、赤道ギニア、エリトリア、エチオピア、ユーロパ島、ガボン、ガンビア、ガーナ、ギニア、ギニア・ビサウ、ジュアン・ド・ノバ、ケニア、レソト、リベリア、リビア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モーリシャス、マヨット、モロッコ（1985年にOAUを脱退）、モザンビーク、ナミビア、ニジェール、ナイジェリア、プリンス・エドワード・マリオン諸島、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、レユニオン、ロドリゲス島、セネガル、セイシェル、シエラ・レオーネ、ソマリア、南アフリカ、スーダン、スワジランド、タンザニア、トーゴ、チュニジア、トロメリン島、西サハラ、ウガンダ、ベルデ諸島、ザンビア、ザンジバール、ジンバブエ（一部国名の変更を除き、条約添付資料にもとづいた。）

●加盟国
50カ国が署名、20カ国（アルジェリア、ボツワナ、ブルキナ・ファソ、コートジボアール、赤道ギニア、ガンビア、ギニア、ケニア、レソト、リビア、マダガスカル、マリ、モーリタニア、モーリシャス、ナイジェリア、南アフリカ、スワジランド、タンザニア、トーゴ、ジンバブエ）が加盟。

●核保有国の対応
議定書 I では、条約締約国に対して、および地帯内で、核兵器を使用または使用の威嚇をしないことを定め、議定書 II は、地帯内での核実験の禁止を定め、すべての核保有国に参加を求めている。中、仏、英は、署名・批准、米、ロは署名済み。
※2002年7月、OAUはアフリカ連合（AU）へと移行した。

東南アジア非核兵器地帯条約（バンコク条約）

●締結署名　1995年12月15日
●発効　1997年3月27日

●地帯の範囲
東南アジアのすべての国家の領土とその大陸棚、排他的経済水域よりなる区域。（図は200カイリ排他的経済水域を含めて作成した。）

●地域内に位置する国・地域
ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム

【注】中国、台湾、ベトナム、フィリピン、マレーシア、ブルネイが領有権を主張する南沙諸島の多くも地帯内にある）

●加盟国
上記「地帯内に位置する国・地域」の10カ国。

●核保有国の対応
5つの核兵器国に対して「条約締約国に対して、および地帯内で核兵器の使用または使用の威嚇をしないこと」を定めた議定書（第2条）への参加を求めている。米は、一方的に核使用を禁じていること、経済専管水域までも地帯に含まれること、から議定書への署名を拒否している。中国も難色を示している。

い「非核の傘」で平和と安全

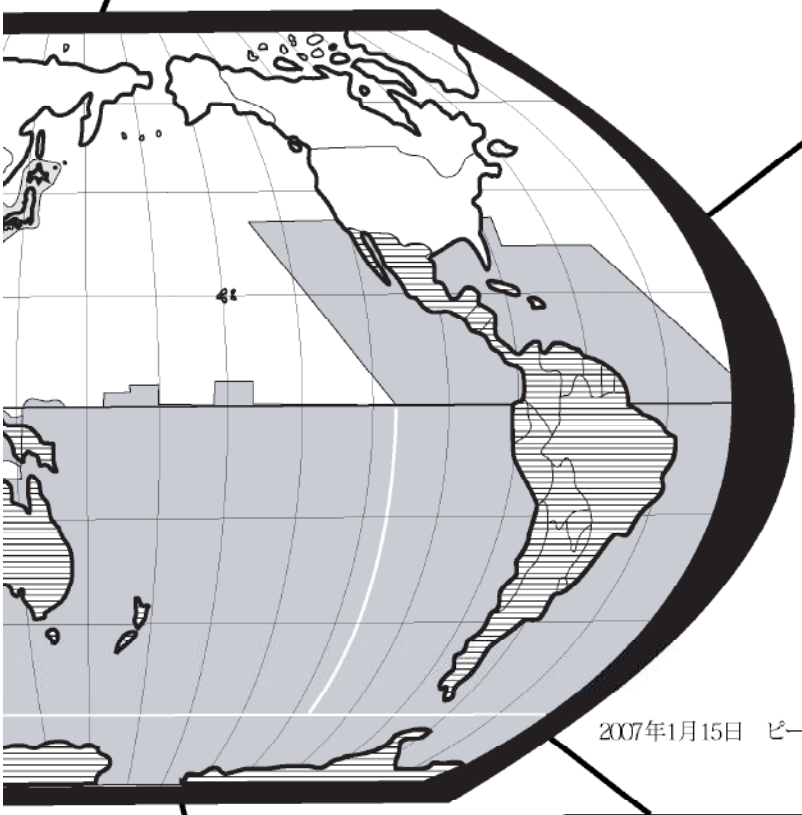
ジア非核兵器地帯」を

条約に署名し、世界で5番目、北半球で初となる非核兵器地帯が誕生した。一国非核兵傘」が大きく広がった。
ならず、地帯内の国家に対する核兵器の使用や威嚇も禁止される。こうした地帯の設置に確実にしようとする試みである。中東、南アジア、東北アジアなど各地で、新たな非核兵情態を受けたいまこそ、「東北アジア非核兵器地帯」の実現に向けて声を強めよう。

東北アジア非核兵器地帯（非政府提案）

●1990年代半ば以来、さまざまな具体的な非政府提案が登場した。もっとも現実的な案として、朝鮮半島非核化南北共同宣言と日本の非核三原則をつなげ、それを米・中・ロが支持し、核攻撃・威嚇をしない安全の保証を与える「スリー・プラス・スリー」案がある。

●2004年、モデル「東北アジア非核兵器地帯条約」をピースデポが発表。



2007年1月15日　ピースデポ作成

ラテン・アメリカおよびカリブ地域における核兵器禁止条約※

（トラテロルコ条約）

●締結署名　1967年2月14日
●発効　1968年4月22日

●地帯の範囲

北緯35度西経75度の点から真南へ北緯30度西経75度の点まで、そこから真東へ北緯30度西経50度の点まで、そこから斜航線に沿って北緯5度西経20度の点まで、そこから真南へ南緯60度西経20度の点まで、そこから真西へ南緯60度西経115度の点まで、そこから真北へ緯度零度西経115度の点まで、そこから斜航線に沿って北緯35度西経150度の点まで、そこから真東へ北緯35度西経75度の点までの境界。ただし米国領土・領海は除く。（図は、この領域を示している。）

●地帯内に位置する国・地域

アンティグア・バーブーダ、アルゼンチン、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ボリビア、ブラジル、チリ、コロンビア、コスタリカ、キューバ、ドミニカ、ドミニカ共和国、エクアドル、エル・サルバドル、グレナダ、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、メキシコ、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ペルー、セント・ルシア、セント・クリストファー・ネイビース、セント・ビンセント、スリナム、トリニダッド・トバゴ、ウルグアイ、ベネズエラ

【注】その他にプエルトリコ（米自治領）やフォークランド諸島（英植民地）など植民地下の島々がある。

●加盟国

上記「地帯内に位置する国・地域」の33カ国。

●核保有国の対応

5核兵器国すべてが、条約締約国に対して核兵器を使用しないこと、または使用するとの威嚇を行わないことを定めた付属議定書Ⅱに署名、批准寄託している。

※1990年に現在の名称に変更された。

南極条約

●締結署名　1959年12月1日（ワシントン）
●発効　1961年6月23日

●地帯の範囲

南緯60度以南の地域・ただし公海については他の国際法の権利を侵害しない。

●地帯内に位置する国・地域

なし。南極での領土権は凍結されている（第4条）。

●加盟国

5つの核兵器国を含む45カ国。

南太平洋非核地帯条約（ラロトンガ条約）

●締結署名　1985年8月6日
●発効　1986年12月11日

●地帯の範囲

条約の付属書1に細かく緯度、経度で規定されている。付属書にはそれにしたがって地図が添付されている。図はその地図を再現した。インド洋に面した非核地帯は、オーストラリアの領海で区切られている。インド洋に浮かぶオーストラリア領の島々も非核地帯に属するが、図には示していない。

●地帯内に位置する国・地域

オーストラリア、フィジー、キリバス、ナウル、ニュージーランド（NZ）、パプア・ニューギニア、ソロモン諸島、トンガ、ツバル、バヌアツ、サモア、クック諸島（NZ自治領）、ニウエ（NZ自治領）

【注】その他に植民地下の仏領ポリネシア、米領サモア、ニューカレドニア（仏）などがある。条約は太平洋諸島フォーラム（2000年10月、『南太平洋フォーラム』より名称変更）参加国に加盟が開かれている。したがって、地帯外であるが、マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦、パラオにも加盟の資格がある。

●加盟国

上記「地帯内に位置する国・地域」の13カ国。

●核保有国の対応

条約締約国に対する核爆発装置の使用または使用の威嚇の禁止、非核地帯内における核爆発装置の実験の禁止を定めた議定書2、3があり、フランスの核実験終了を契機に米英仏が署名し、現在米国以外のすべての核兵器国は批准寄託している。

国際司法裁判所の勧告的意見　　国際司法裁判所１９９６年７月８日

Ｃ．全員一致

国際連合憲章第２条第４項に反し、かつ、第５１条のすべての要件を満たさない核兵器を用いての武力による威嚇または武力の行使は、違法である。

Ｅ．７対７

以下に述べた要件から、核兵器の威嚇または使用は、一般的に、武力紛争に適用される国際法、とりわけ人道法の原則および規則に反することになる。　しかしながら、本裁判所は、国際法の現状および利用しうる事実の証拠に立って考えると、国家の存亡が危険にさらされている自衛の極端な状況において、核兵器の威嚇または使用が合法であるか、違法であるかについて、確定的に結論を下すことができない。

Ｆ．全員一致　　厳密かつ効果的な国際管理の下における、あらゆる点での核軍縮に導かれる交渉を誠実に遂行し、完結させる義務がある。

核不拡散条約（NPT）再検討会議（2000 年 4 月 24 日ー5 月 19 日、ニューヨーク）

NPT 再検討会議最終文書

第 6 条と前文第 8 から 12 段落（1ー15）

15. 本会議は、核兵器不拡散条約第 6 条および「核不拡散および軍縮のための原則と目標」にかんする 1995 年決定の第 3 段落および第 4 段落 b 項を実行するための、体系的かつ漸進的努力のための以下の実際的措置に合意する。

6) 第 6 条のもとですべての締約国が責任を負う核軍縮（nuclear disarmament）につながる、自国核兵器の完全廃絶を達成するという全核保有国の明確な約束。

（参考）

ＮＰＴ第６条：_「各締約国は、核軍備競争の早期の停止および核軍備の縮小に関する効果的な措置につき、ならびに厳格かつ効果的な 国際管理の下における全面的かつ完全な軍備縮小に関する条約について、誠実に交渉をおこなうことを約束する。」

STOP
NUCLEAR DEATH RESEARCH
GENOCIDE

THE RIGHT LIVELIHOOD
AWA

ニュールンベルグ原則

（抜粋）

ニュールンペルグ原則は、国連第一回総会において満場一致で採択され、一九五二年、国際法委員会によって改正された。

第一原則

なに人といえども、国際法によって犯罪を構成する行為をおこなう者は、その行為に対する責めを負い、刑罰に処せられる。

第三原則

国家の元首または責任ある公務員にして、国際法により犯罪を構成する行為をおこなった者は、国際法上の責任を免れない。

第四原則

政府または上司の命令にしたがって行為した者は、道徳的選択が現実に可能であったとき、国際法上の責任を免れない。

第六原則

左に掲げる犯罪は、国際法による犯罪として罰することができる。

a 平和に対する罪

(i) 国際条約、協定または保証に違反する侵略戦争または戦争の計画、準備、開始、遂行

(ii) (i)に定めるいかなる行為といえども、これらの行為を遂行するための共同計画または共謀への参加

b 戦争犯罪

戦争法規または慣例の違反には、占領地域の内たると外たるとを問わず、強制労働またはその他いかなる目的であれ、一般住民の殺害、虐待または移送、捕虜または航海中の者の殺害もしくは虐待、人質の殺害、公的または私的財産の略奪、都市村落の理由なき破壊または軍事的必要性によって正当化されない惨害を含むが、これらに限るものではない。

c 人道に対する罪

政治的、人種的、宗教的な理由から、一般住民に対しておこなわれる殺害、絶滅、奴隷化、移送およびその他の迫害が、平和に対する罪または戦争犯罪の遂行中もしくはこれらと関連しておこなわれる場合

アメリカ合衆国首席検事ロバート・H・ジャクソンのニュルンベルク法廷での警告

「きょう被告たちを裁くその同じ尺度で、月日は歴史がわれわれを裁くかもしれないことを、けっして忘れてはならない。被告たちに毒杯を突きつけることは、われわれ自身の唇に毒杯をあてがうことを意味しているのである」。

「裁かれざるナチス ― ニュルンベルク裁判とその後」（訳　宮野悦義, 稲野強. 出版社　大月書店. 1981年 4 月 20 日第 1 刷発行）の前書きから

TRIDENT: BRITAIN'S WEAPONS OF MASS DESTRUCTION

TRIDENT, the Uk's mass killing machine

Scotland can get rid of Trident

Faslane 365
Continuous
peaceful
blockade
of Britain's
nuclear
missiles
www.faslane365.org

Google マップ BETA

例:「千代田区永田町1-7-1」や「表参道 ケーキ」

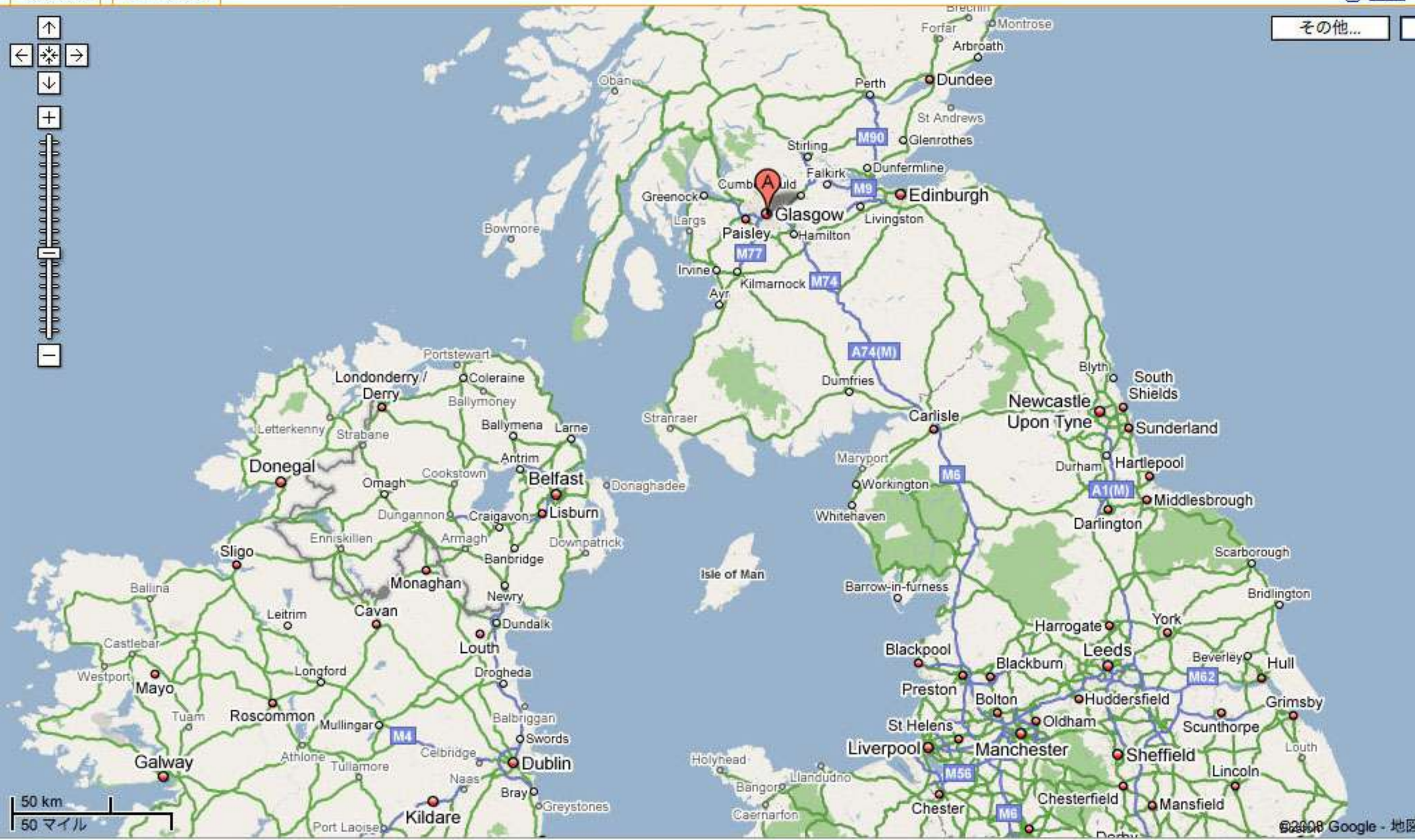
glasgow

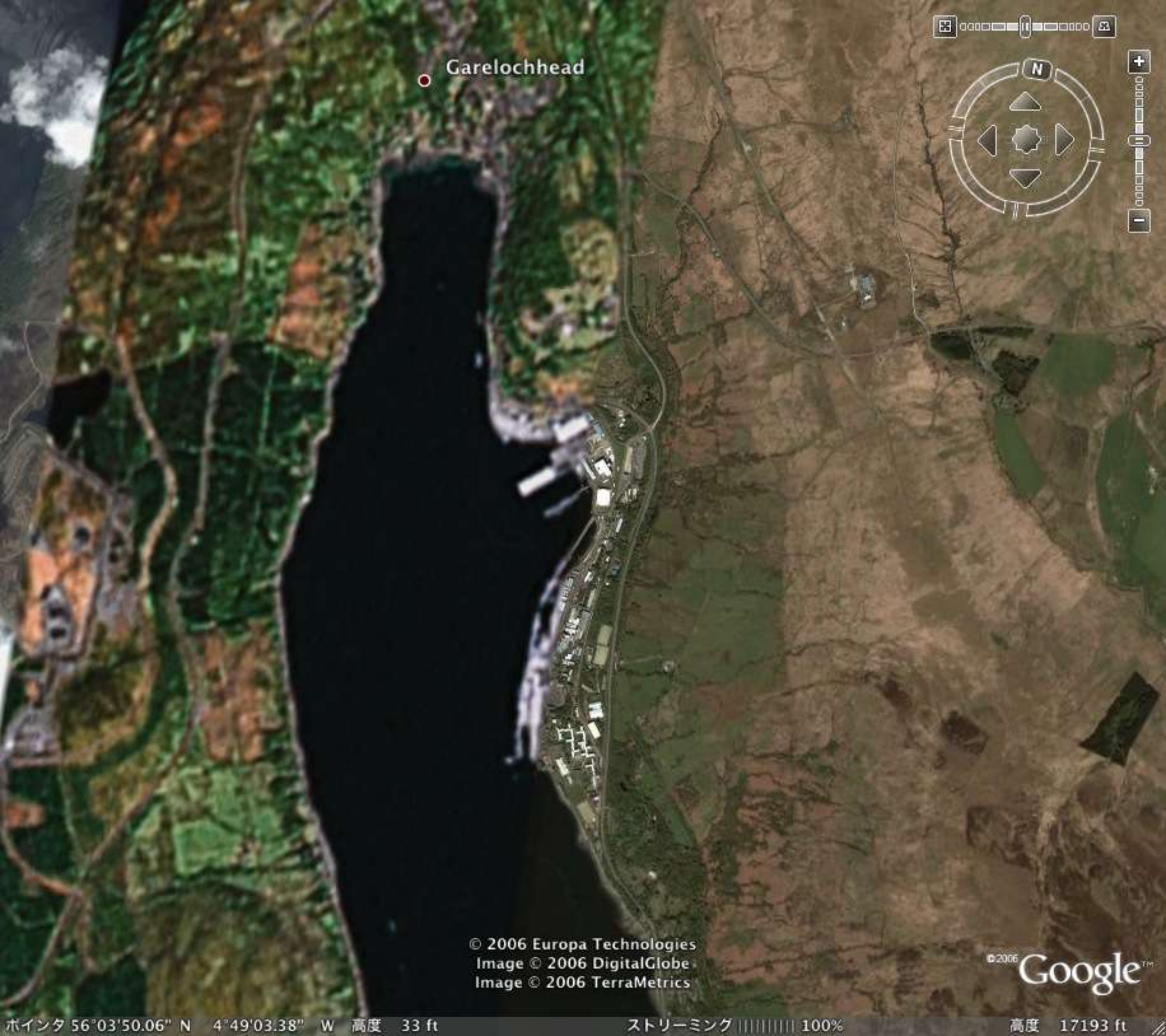
地図を検索 検索オプションを表示

地図を検索 お店やサービスを検索 乗換案内

検索結果 マイマップ

印刷




Garelochhead
N
© 2006 Europa Technologies
Image © 2006 DigitalGlobe
Image © 2006 TerraMetrics
©2006 Google
ポインタ 56°03'50.06" N 4°49'03.38" W 高度 33 ft
ストリーミング 100%
高度 17193 ft

Smiley Happy Blockaders

Including Nobel Peace Laureate Mairead Corrigan Maguire (third from bottom).

thumbnail › | original ›

Blockade Photos › | Ireland Photo Gallery ›

Home
About Faslane 365
About Trident
Blockading Groups
Press
Legal Information
Resources
Supporters
F365 Big Blockade

info@faslane365.org
0845 45 88 365
more contact

F365 POSTER

A commemorative poster containing photos of many of the actions and banners during Faslane 365 is now available.

More info

SEARCH

search

BLOCKADING ROTA

View the Faslane 365 Blockading Rota

16 Decent Exposure of Indecent Trident!

thumbnail › | original ›

Blockade Photos › | Cyclists From Everywhere Photo Gallery ›

Home
About Faslane 365
About Trident
Blockading Groups
Press
Legal Information
Resources
Supporters
F365 Big Blockade

info@faslane365.org
0845 45 88 365
more contact

F365 POSTER

A commemorative poster containing photos of many of the actions and banners during Faslane 365 is now available.

More info

SEARCH

search

呼びかけ人・賛同人（五十音順）

青柳行信（カトリック福岡正義と平和協議会）

浅井基文（広島平和研究所長）

池内了（総合研究大学院大学教授）

池田眞規（日本反核法律家協会会長）

浦田賢治（早稲田大学名誉教授）

大場一雄（函館・「下北」から核を考える会共同代表）

きくちゆみ（環境・平和活動家）

岸恵子（佐賀市在住）

金城睦（弁護士・沖縄平和市民連絡会共同代表）

國弘正雄（元参議院議員・英国エジンバラ大学特任客員教授）

沢田昭二（名古屋大学名誉教授）

竹岡勝美（元・防衛庁官房長）

田中煕巳（日本被団協事務局長）

谷百合子（無防備・非核ネットワーク北海道）

土田弥生（原水爆禁止日本協議会・事務局次長）

暉峻淑子（埼玉大学名誉教授）

豊島耕一（佐賀大学理工学部教授呼びかけの世話人）

八谷まち子（九州大学、法学研究院教員）

廣瀬方人（核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会事務局長・長崎の証言の会代表委員）

藤岡惇（立命館大学教授）

星川淳（グリーンピース・ジャパン事務局長）

真鍋毅（佐賀大学名誉教授）

三好永作（九州大学総合理工学研究院教授）

森茂康（九州大学名誉教授）

山下侑子（服飾デザイナー・元佐賀県議会議員）

賛同団体（五十音順）

核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会

グリーンピース・ジャパン

原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会

原水爆禁止日本国民会議

佐賀県原水協

佐賀大学教職員組合

日本科学者会議福岡支部

日本青年団協議会

日本反核法律家協会

日本ＹＷＣＡ

反戦情報

非核自治体全国草の根ネットワーク

ピースボート

平和事務所

POLICE
POLICE

HELENSBURGH
NUCLEAR
BOLLOCKS

www.malcolmgroup.co.uk

MALCOLM

0141
435 5200

POLICE

日本国憲法 第2章 戦争の放棄

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

THE CONSTITUTION OF JAPAN
CHAPTER 2 RENUNCIATION OF WAR

Article 9

Aspiring sincerely to an international peace based on justice and order, the Japanese people forever renounce war as a sovereign right of the nation and the threat or use of force as means of settling international disputes.

bambooblock.mp4

STRATHCLYDE
POLICE

Welcome

Clydebank Police Office

0:25:59

INSIDE SATURDAY'S SCOTSMAN MAGAZINE

LIVING ON THE EDGE Novice climber Griff Rhys Jones takes on Scotland's peaks

Japanese atomic bomb survivors arrested during Faslane protest

CRAIG BROWN

SURVIVORS of the Nagasaki atomic bomb attack were among those arrested at Faslane naval base yesterday during a protest at plans to renew the Trident nuclear weapon system.

The five men, two of whom are A-bomb survivors, linked themselves together with bamboo sticks and sat in the road in front of the base, near Helensburgh in Argyll.

A local woman who joined the protest was also arrested, police said. Five Japanese women were detained during the protest but freed later.

The protesters are part of a 12-strong group from Nagasaki, where 74,000 people died and 75,000 were injured after an atomic bomb was dropped on the city at the end of the Second World War.

They held a ceremony at the gates of the base, where they sprinkled water brought from the Peace Park in Nagasaki, the site where the bomb was dropped, and left origami cranes and other symbols of life and peace.

The group hopes their visit will remind politicians in Scotland and the rest of the UK about the dangers they see in renewing Trident.

Shinya Moriguchi, 30, said: "My relatives survived the bomb and against this background I cannot be indifferent to nuclear weapons.

"The UK stands at the crossroads of which way to go and I felt we should not miss this good opportunity to persuade the UK to go down the route of nuclear disarmament."

Noboru Tasaki, 63, who has worked all his life for world peace and nuclear disarmament, said: "Our people know and experienced nuclear weapons and we know they are terrible for all humanity.

"We hope that the UK government will change its decision and will go for disarmament of nuclear weapons. I hope that today's demonstration will contribute to nuclear disarmament."

He added that if Britain was to opt to scrap its nuclear arsenal, it would have a profound effect on the campaign for global disarmament.

There were also several professors, scientists and teachers among the delegation. Their protest is part of Faslane 365, a year-long peaceful blockade of the base which started last October.

A Faslane 365 spokesman said: "Today has been very powerful and special because of the number of bomb survivors here.

"It is part of a bigger effort to disrupt this horrible place and press for change and it is a necessary part of a very necessary change."

Strathclyde Police said that reports would be sent to the procurator-fiscal on the five arrests made.

Nagasaki was the target of the world's second atomic bomb attack at 11:02am on 9 August, 1945, when the north of the city was destroyed.

According to statistics kept at the Nagasaki Peace Park, the dead totalled 73,884, injured 74,909. Several hundred more also suffered diseases related to radiation from the bomb.

crbrown@scotsman.com

Five Japanese men were arrested during a protest by a group from Nagasaki at the Argyll naval base Picture: Aondra Dubhacan

Lib Dems facing fine over late accounts

LOUISE GRAY

THE Scottish Liberal Democrats face a fine for failing to hand over audited accounts to election officials.

It emerged yesterday that the party's accounting unit missed the deadline to submit final figures to the Electoral Commission.

A Lib Dem spokeswoman blamed the situation on a "administrative error". But Peter Wardle, the chief executive of the Electoral Commission, said: "Without complete and open accounts, you cannot have full transparency about party finances."

It was also revealed that the Scottish National Party had more than four times the income of its Scottish Labour rivals in 2006. The SNP had an income of £1,836,405, according to the accounts.

Its net debt stood at £689,764, down £35,323 on the previous year.

Scottish Labour had an income of £396,800 last year, a third of it from donations. However, a party spokesman said the figures were not directly comparable because much of the money raised and spent north of the Border is included in its UK accounts.

Meanwhile, donation income to the Conservative Party was £19,903,000 – compared with £13,574,000 in 2005. No Scottish breakdown was released.

'WE WERE SO FORTUNATE'

Noboru Tasaki's family escaped without fatalities

NOBORU Tasaki, 63, a lecturer at Nagasaki University and a former director of the city's Office of Peace Promotion, was 14 months old at the time of the blast.

"Fortunately, the farm where my parents worked was five kilometres from the blast, so even though I had been outside when it happened, I was not hurt.

"My parents told me that I had been bathing in a river at the time, and that I had started crying because of the noise.

"Even though we were quite far from the centre of the city and sheltered from its effects by a hill, my home still suffered damage. My father thought the blast had hit us because tiles from the farm had been blown off.

"We were so fortunate, as my whole family escaped without fatalities, but it's impossible to calculate the impact the bomb had on Nagaski, not just physically but spiritually and psychologically.

"Once I learned about the devastating effects atomic bombs have, I worked with the city's Office of Peace Promotion and its Atomic Bomb Museum, until my retirement three years ago."

'A TERRIBLE SMELL OF BURNING'

Mitsugu Moriguchi's sisters all died because of the bomb

MITSUGU Moriguchi, 70, a retired elementary school teacher, was only nine years old when Nagasaki was bombed: "Luckily, I had been evacuated to the countryside at the time, but I remember the bomb going off. I was playing outside with two of my brothers at the time when there was a massive sound, followed by a gale created by the blast wave and the mushroom cloud rising into the sky.

"We waited a week before returning to my original home in the city, which had been three kilometres from the blast centre.

"There are so many terrible images of the devastation that I remember, but one that sticks out was the sight of all the burned bodies scattered at the roadside. Some of them were still smouldering, but the sight was accompanied by a terrible smell of burning, not just from the human bodies, but all the buildings around. It's something I will never forget.

"A decade later, one of my four sisters died of cancer caused by the radiation, and the three others died shortly after, all from the effects of the bomb."

Japanese atomic bomb survivors arrested during Faslane protest

CRAIG BROWN

SURVIVORS of the Nagasaki atomic bomb attack were among those arrested at Faslane naval base yesterday during a protest at plans to renew the Trident nuclear weapon system.

The five men, two of whom are A-bomb survivors, linked themselves together with bamboo sticks and sat in the road in front of the base, near Helensburgh in Argyll.

A local woman who joined the protest was also arrested, police said. Five Japanese women were detained during the protest but freed later.

The protesters are part of a 12-strong group from Nagasaki, where 74,000 people died and 75,000 were injured after an atomic bomb was dropped on the city at the end of the Second World War.

They held a ceremony at the gates of the base, where they sprinkled water brought from the Peace Park in Nagasaki, the site where the bomb was dropped, and left origami cranes and other symbols of life and peace.

The group hopes their visit will remind politicians in Scotland and the rest of the UK about the dangers they see in renewing Trident.

Shinya Moriguchi, 30, said: "My relatives survived the bomb and against this background I cannot be indifferent to nuclear weapons.

"The UK stands at the crossroads of which way to go and I felt we should not miss this good opportunity to persuade the UK to go down the route of nuclear disarmament."

Noboru Tasaki, 63, who has worked all his life for world peace and nuclear disarmament, said: "Our people know and experienced nuclear weapons and we know they are terrible for all humanity.

"We hope that the UK government will change its decision and will go for disarmament of nuclear weapons. I hope that today's demonstration will contribute to nuclear disarmament."

He added that if Britain was to opt to scrap its nuclear arsenal, it would have a profound effect on the campaign for global disarmament.

There were also several professors, scientists and teachers among the delegation. Their protest is part of Faslane 365, a year-long peaceful blockade of the base which started last October.

Five Japanese men were arrested during a protest by a group from Nagasaki at the Argyll naval base Picture: Anndra Dubhacan

A Faslane 365 spokesman said: "Today has been very powerful and special because of the number of bomb survivors here.

"It is part of a bigger effort to disrupt this horrible place and press for change and it is a necessary part of a very necessary change."

Strathclyde Police said that reports would be sent to the procurator-fiscal on the five arrests made.

Nagasaki was the target of the world's second atomic bomb attack at 11:02am on 9 August, 1945, when the north of the city was destroyed.

According to statistics kept at the Nagasaki Peace Park, the dead totalled 73,884, injured 74,909. Several hundred more also suffered diseases related to radiation from the bomb.

crbrown@scotsman.com

×　巧言令色鮮シ仁

◎　以テ巧言令色ヲ一為スレ仁ヲ

「フランク報告」　序文の第三パラグラフ　（1945 年 6 月）

科学者は，互いの平和を増進するのではなく，国どうしの相互破壊のために新しい兵器を作ってきたとしばしばこれまで非難されてきた．たとえば，飛行機の発明は，楽しみや人間の利益よりも悲惨をより多くもたらしたことは疑いない真実である．しかしながら，過去において科学者は，かれらの純粋な発明に対して人類が見つけた利用方法については，直接的な責任を否認することが出来た．我々は今日おなじ姿勢を取ることはできない．なぜなら原子力において我々が成し遂げたものは，過去のすべての発明よりも限りなく大きな危険に満ちているからである．核科学の現状について知っている我々は皆，わが国を襲った突然の破壊が，真珠湾攻撃の千倍の規模で，この国のすべての大都市において繰り返されるという悪夢とともに生きている．

PASSES / I.D. CARDS
SHOULD BE VISIBLY
DISPLAYED AT ALL TIMES
WHILST IN CONFINES
OF HMNB CLYDE

Save our Post Offices

The Post Office plans to close over 250 post offices in Scotland in the next year, with 44 closures already announced. The SNP plans to fight these closures, help us now by joining our campaign and writing to the Post Office. **MORE**

Join the conversation.

The SNP's white paper sets out a vision of Independence and responsibility in the modern world. It is an inclusive, governmental document – making clear that we believe Independence and equality offers the best future for Scotland, while urging those who believe in other possibilities, such as more powers, to come into the conversation. **MORE**

It's time to rid Scotland of nuclear weapons

The SNP wants a safer, healthier and wealthier Scotland. We believe nuclear weapons are the wrong choice for a successful Scotland. That's why we won't waste £25 billion on new weapons of mass destruction, when it can be better spent in our schools, hospitals and other public services. **MORE**

Donate Campaign

The SNP are proud to be different from the other political parties. We have built a broad base of individual donors who care about Scotland to ensure that we answer to no one but the people. Every penny that you Donate helps us to promote our positive vision of Scotland. We can only continue to work to build a stronger and more successful nation with the help and support of people like you. **MORE**

Promoted by Peter Murrell on behalf of the Scottish National Party, both at 107 McDonald Road, Edinburgh EH7 4NW.

BIG BLOCKADE
ALDERMASTON

STOP AWE NUCLEAR BOMB FACTORY

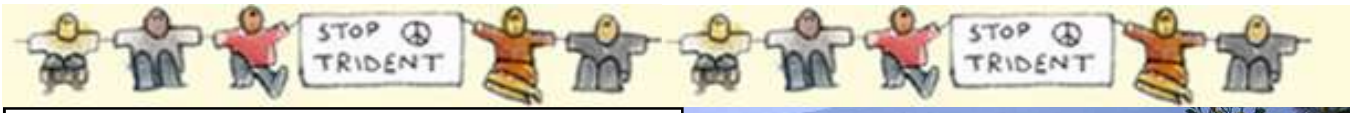
...AWE: Also known as: Atomic Weapons Establishment...

OCTOBER 27TH 2008

SCOTLAND DOESN'T WANT IT
WE DON'T WANT IT
LET'S FINISH TRIDENT
PUT THIS DATE IN YOUR DIARY TODAY

Trident Ploughshares

www.tridentploughshares.org



Aldermaston Big Blockade 27th October 2008

Where? Atomic Weapons Establishment (AWE) Aldermaston: meet in Reading, contact us in advance for venue details (or see website: www.tridentploughshares.org)

Why here? *Developments at Aldermaston enable building & testing of a new generation of nuclear weapons.*

When? Meet from 1pm, Sunday 26th Oct; blockade Monday 27th.

Why now? *The new bombs being built at AWE will scupper nuclear disarmament for another 50 years.*

What? Big, non-violent blockade to disrupt work on Trident warheads and their successors: see website for non-violence and safety rules.

Contact: 07804 640643,
Email: blockawe@yahoo.co.uk
Web: www.tridentploughshares.org

Faslane Big Blockade

For briefing pack, phone, email or send in strip below. There will be accommodation, training and coaches from around the UK.

Trident Ploughshares have been blockading Faslane nuclear base since 1997. **Faslane 365** stepped it up a gear in 2006/7,
with **131** blockading groups,
189 days of presence,
1150 arrests
and **66** prosecutions.
We've turned the tide against Trident in Scotland.
Now its England's turn.

Please send me Briefing Pack on the "Big Blockade Aldermaston": NAME……..……..

ADDRESS……..

TEL:……EMAIL……..……

SEND SLIP TO: Trident Ploughshares (ML), 15 Zion House, Jubilee Street, London, E1 3EN

（アインシュタインの１９４９年のエッセイから）

私的資本は集約されて寡占状態に向かう．それは一つは資本家の間の競争により，また一つには技術的な発展と分業の増大が，小企業を犠牲にしながら生産単位を大きくする方が有利であることによる．この過程の結果，寡占状態の私的資本の力は著しく増大して，民主的に組織された政治的な環境においてもうまくチェックすることができなくなる．立法院の議員は政党が選択するが，その政党は私的資本から財政的その他の援助・影響を受けていて，一方私的資本には選挙民を立法院からなるべく隔離しておこうと考える実際的な理由がある．その結果，市民の代表は特権を持っていない人々の利益を十分には守らない．さらに現在の状況では，私的資本が主要な情報源（新聞・ラジオ・教育）を直接・間接に操るということが不可避である．その結果，個々の市民が客観的な結論に達して，政治的な権利をうまく使うということは非常に難しく，多くの場合に全く不可能である．

from the first issue of *Monthly Review* (May 1949).
http://www.monthlyreview.org/598einst.htm